

平成30年8月20日

報道関係各位

一宮市三岸節子記念美術館館長 野中 裕介

三岸節子作《浜村美智子氏肖像画》の受贈
および浜村美智子氏講演会の開催について（お知らせ）

このことについて、下記のとおりお知らせします。

記

<u>作品名</u>	三岸節子作《浜村美智子氏肖像画》 （『週刊朝日』昭和33年3月16日号表紙原画） 1958(昭和33)年、38.0×45.5cm(F8号)、 油彩・キャンバス
<u>寄贈者</u>	故 宮崎 輝豊（みやざき きほう）氏 兵庫県赤穂市、昭和5年生まれ、 平成30年4月16日亡（享年87歳）
<u>寄贈日</u>	平成30年5月29日(火)
<u>展示期間</u>	平成30年10月6日(土)～平成31年4月7日(日)
<u>展示場所</u>	一宮市三岸節子記念美術館 常設展示室
<u>作品概要</u>	

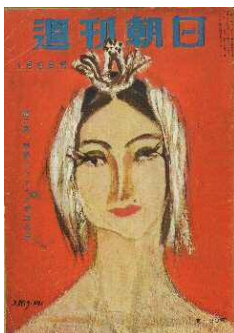


© Migishi

『週刊朝日』1958(昭和33)年3月16日号の表紙を飾った、肖像画の原画。『週刊朝日』はこの年、三岸節子をはじめとする15人の画家に表紙を描いてもらい、読者による人気投票を行う企画【第8回表紙コンクール「日本の若い女性」】を実施した。

節子が描いた浜村美智子氏（はまむらみちこ、1937(昭和12)年生まれ、今年81歳）は、前年の1957年、18歳でのデビュー曲「バナナ・ボート」が230万枚を超える大ヒットを記録し、カリプソブームを巻き起こした。本邦初の“10代のカリスマ”アイドルとして、当時としては異例の渡米を果たすなど、1963(昭和38)年の結婚まで活躍した。

節子は花などの静物画やヨーロッパの風景画で知られるが、「相手に気兼ねや気苦労をするのが厭」と、人物をモデルに描くことはほとんどなかった。確実に肖像画を制作した記録が残るのは、1956年～58年に当【表紙コンクール】企画で発表した谷桃子氏（バレリーナ）、貝谷八百子氏（バレリーナ）、浜村美智子氏の3名のみであり、これら3作品は三岸節子の調査研究にあたり、大変貴重な資料といえる。



1956年《谷桃子氏肖像画》



1957年《貝谷八百子氏肖像画》



1958年《浜村美智子氏肖像画》

受贈の経緯

この【表紙コンクール】は人気投票と懸賞が兼ねられており、各号の表紙絵に投票した一般読者の中から、抽選で1名に原画がプレゼントされた。寄贈者の宮崎氏もそうして原画を入手し、当選後は勤務先や自宅に大切に飾り、来客の際には常に紹介していたとのことである。いつかはしかるべき施設に寄贈したいという思いを持っていたが、今年4月16日に急逝した。

一方、当館は昨年10月に《貝谷八百子氏肖像画》(1957年)を別の当選者から受贈し、それをきっかけに残る2作品《谷桃子氏肖像画》《浜村美智子氏肖像画》の所在調査を開始した。当時の『週刊朝日』の当選者情報を頼りに調査を進めた結果、今年4月18日に、当選者である宮崎輝豊氏の現住所・連絡先が判明した。同日、電話にて問い合わせたところ、家族が応対され、肖像画が自宅に現存することを確認した。しかしながら当選者の輝豊氏は2日前に急逝し、今まさに葬儀の最中とのことであった。

後日、葬儀の最中に当館から連絡があったことについて、遺族から「父が呼んだのかもしれない、父の遺志として肖像画を寄贈したい」との申し出があり、遺族の総意により寄贈を受けることとなった。偶然にも、4月18日は節子の命日でもあった。

1月12日号 第9号 中村 隆二 「松島トモ子」 2926票	1月19日号 第10号 藤田 元子 「若尾 文子」 4636票	1月26日号 第11号 小嶋 良平 「富士真奈美」 10989票	2月2日号 第12号 向井 潤吉 「牧 阿佐美」 3252票	2月9日号 第13号 高野三三男 「安西 郷子」 4871票	2月16日号 第14号 宮本 三郎 「水谷 良重」 7556票	2月23日号 第15号 伊東 深水 「竹腰美代子」 2218票	3月2日号 第16号 田村孝之介 「美空ひばり」 1528票	3月9日号 第17号 宮田 重雄 「三井 美奈」 1008票	3月16日号 第18号 三岸 節子 「浜村美智子」 831票	3月23日号 第19号 橋本 明浩 「久我 美子」 1836票	3月30日号 第20号 東郷 青児 「原田 康子」 1747票	4月6日号 第21号 木下 孝則 「野添ひとみ」 1154票	4月13日号 第22号 岩田 豊太郎 「寿美 花代」 2244票	4月20日号 第23号 見島善三郎 「有馬 稲子」 1761票	今までの集計 47,757票
---	--	---	---	---	--	--	---	---	---	--	--	---	---	--	----------------

浜村美智子氏講演会

本件を所属事務所を通じて浜村氏にお伝えしたところ、非常に感激され、開館20周年記念事業として当館でご講演いただくこととなった。肖像画に描かれた3名のうち谷氏、貝谷氏はすでに他界しており、浜村氏には“節子に描かれた唯一の生き証人”として当時を振り返っていただくほか、1957(昭和32)年に日本に空前のブームを巻き起こした「バナナ・ボート」をはじめとするヒット曲をご披露いただく。浜村氏はNHK紅白歌合戦出場、アメリカでも活躍ののち結婚で引退するが、1972(昭和47)年にカムバック。現在もラテン、ジャズフェスティバルを皮切りにライブやディナーショーに出演、震災チャリティーコンサートなどの福祉活動にも積極的に取り組まれている。2016(平成28)年にはテレビ朝日「徹子の部屋」に出演し、大きな反響を呼んだ。

<浜村美智子トーク&ソングショー ～節子さんに生かされて～>

※開館20周年記念事業「ニジュウネンナーレ」内イベント

日 時：平成30年11月4日(日) 午後2時

定 員：80名

入場料：無料(9月26日(水)より先着順で整理券を配布)



備 考 残る《谷桃子氏肖像画》(1956年)については、引き続き所在調査を進めている。

一宮市三岸節子記念美術館 課長補佐 長岡

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南 3147-1

TEL 0586-63-2892(市内線 7780) FAX 0586-63-2893